



# 日本株上昇のカギは「長期政権かつ改革路線」

## 日本株上昇継続のカギは「長期政権かつ改革路線」

- 日本株の明確な上昇基調継続の条件は「長期政権かつ（実行を伴う）改革路線」（図①）
- この条件に該当したのは、中曽根、小泉、二次安倍政権のみ（図①）、この政権の中で、市場を味方につけたのは二次安倍政権
- 安倍氏自ら、米NY証券取引所で「Buy my Abenomics!」と海外投資家に改革路線をアピールし評価された
- 石破ショックと揶揄される株価ネガティブイメージを払拭するには「金融・財政引き締め」型ポリシーミックス（図②）の火消しが必要
- 特に、金融所得課税、法人税の棚上げを早期に打ち出す必要あり
- 衆院選を控えていることもあり市場のマイナスイメージを払拭するコミュニケーションにシフトすることになるのでは？
- この見立てが正しければ、日本株の下値不安も払拭されるだろう
- 衆院選投票日後に日本株が上昇し続けるか否かのカギは前述の通り「長期政権（支持率上昇）かつ改革路線（の打ち出し）」
- 実際、衆院選投票日以降の株価の明暗を分けたのは「短命政権か？長期政権か？」であった（図③）

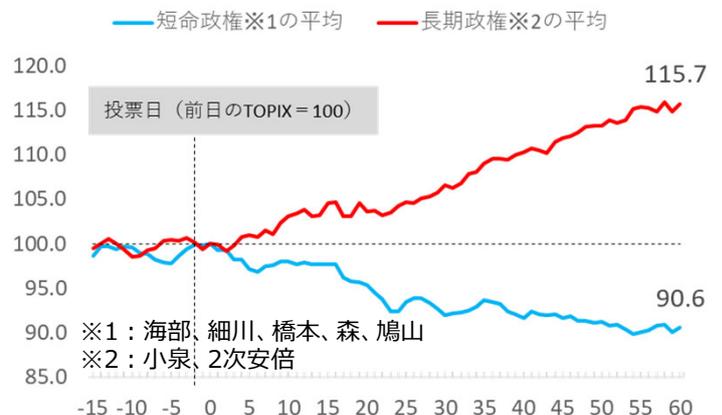
【図表1】歴代政権の在任日数とTOPIX 「長期政権かつ改革路線」のみ株価上昇



【図表2】ポリシーミックス (ポール・クルーグマン マサチューセッツモデル)

|   | 金融政策 | 財政政策 | 通貨政策 | 政策目標                         | 石破総裁 |
|---|------|------|------|------------------------------|------|
| ① | 緩和   | 緩和   | 通貨安  | 不況脱却・デフレ回避                   | -    |
| ② | 緩和   | 引き締め | 通貨安  | 景気下支え                        | -    |
| ③ | 引き締め | 緩和   | 通貨高  | 景気過熱抑止<br>インフレ抑制<br>(④より効果薄) | -    |
| ④ | 引き締め | 引き締め | 通貨高  | 景気過熱抑止<br>インフレ抑制             | ✓    |

【図表3】1990年～衆院選投票日前後のTOPIX 短期政権？・長期政権？がカギ



(図表1～3) Bloombergのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

※本稿に記載された意見、推定、見通しは、本稿の日付時点における執筆者の分析・判断に基づいています。それらは必ずしもニッセイアセットマネジメントの意見を反映しているとは限らず、また予告なしに変更される場合があります。



### 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

#### <設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等： ニッセイアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者  
関東財務局長（金商）第369号  
加入協会： 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506  
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）  
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>